

【本日のテーマ】 使いやすく、過ごしやすい駅前広場としていくため、施設の色合いや配置などを検討

1. 瑞穂市 JR 穂積駅周辺整備基本計画を踏まえた将来イメージ



2. 定期的な利便性の創出
(フレキシブルゾーン)

KEYWORD
賑わい 定期
交流 利便
地域住民

駅の改札を出た目の前の立地を活かし、キッチンカー・マルシェ等の出店の取り組みを定期的に行い、生活利便に繋がる空間を創出します。



3. 駅利用者の交通利便性の確保
(フレキシブルゾーン)

KEYWORD
駅利用者
安心 安全
利便 日常
憩い

一般車乗降場及び駐車場の整備に加え、駅利用者が快適に過ごせるような工夫を施した待合スペースを整備します。



4. 憩い・安心・安全を提供する
公園の整備
(フレキシブルゾーン)

KEYWORD
憩い 日常
安心 安全
地域住民

地域住民や駅利用者が気軽に集える憩いの空間や、有事の際に地域の安心安全に寄与するように施設配置や素材に工夫した空間を創出します。



5. 地域イベント等による賑わい創出
(フレキシブルゾーン)

KEYWORD
賑わい
交流 利便
非日常

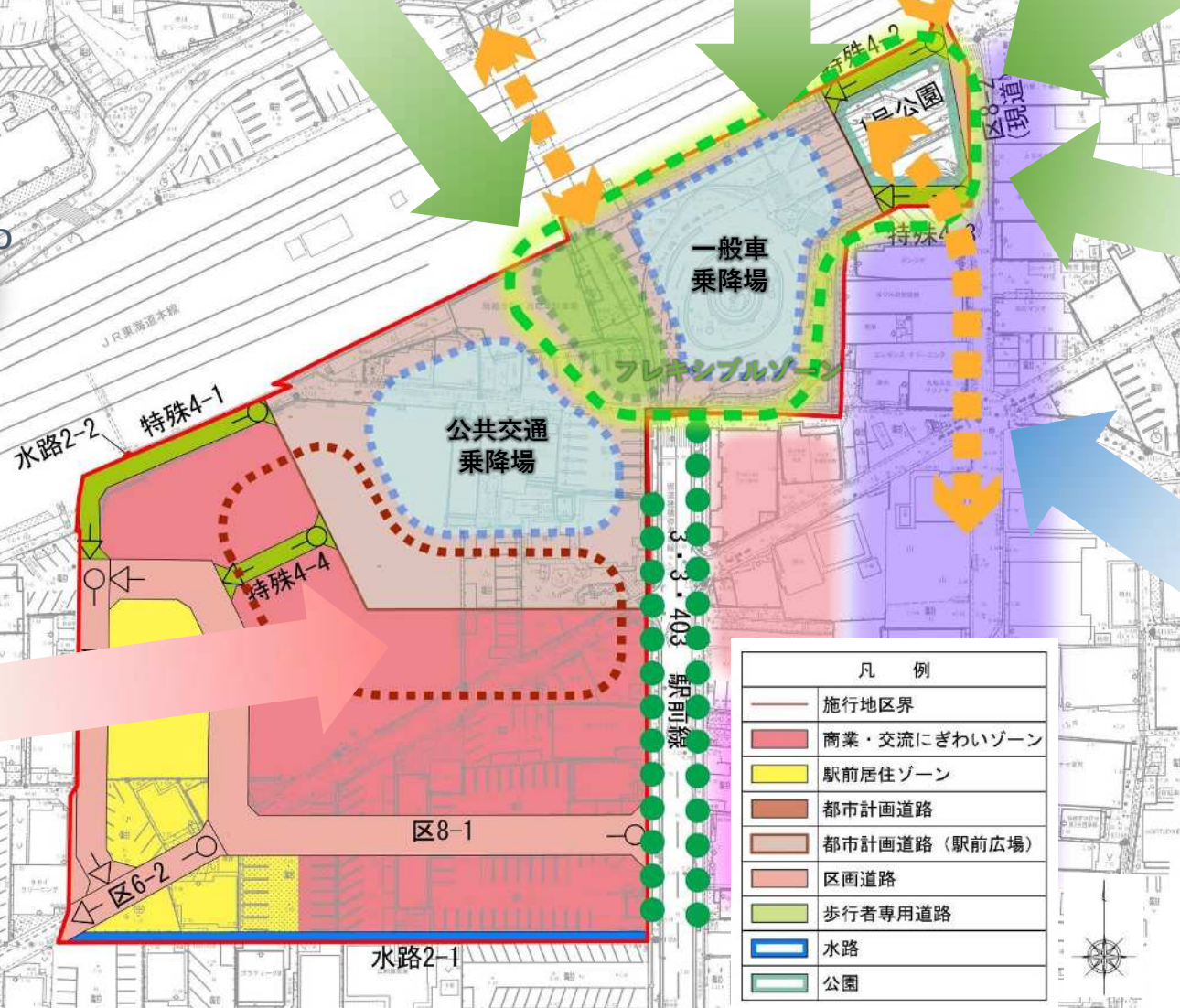
ほづみ夜市・汽車まつり・地域の盆踊りイベント等を想定し、一般車乗降場等をフレキシブルに活用できるように施設配置や素材に工夫した空間を創出します。



1. 商業施設の立地や駅前広場との
一体的な賑わいの創出
(商業・交流にぎわいゾーン)

KEYWORD
賑わい
交流 利便
日常 憩い

駅前広場に面した商業街区には、日常利便に資する施設の誘致を目指します。
また、駅前広場内のオープンスペースと商業施設の一体性から生まれる、日常的な交流空間を創出します。



6. 既存商店街との繋がり
(商店街ゾーン)

KEYWORD
賑わい 日常
交流 利便
地域住民

既存商店街へ人が対流することにより駅前活性化の波及を図ります。



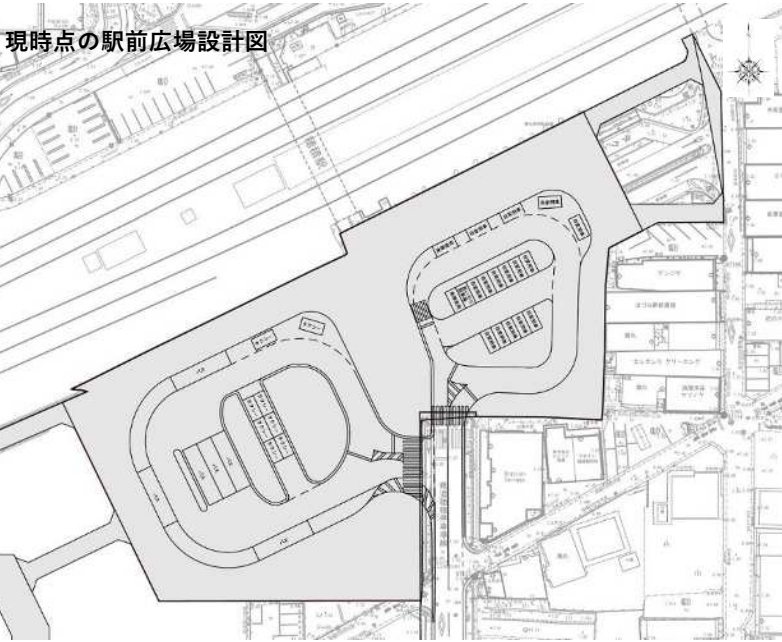
凡 例	
――	施行地区界
■	商業・交流にぎわいゾーン
■	駅前居住ゾーン
――	都市計画道路
――	都市計画道路 (駅前広場)
――	区画道路
――	歩行者専用道路
――	水路
――	公園

魅力的な駅前づくりについて

2. 基本となる考え方

(1) 現在の駅前広場の計画について

・ 本日は、以下の駅前広場を対象とし、皆様から様々なご意見を伺いたいと思います。



【計画概要】

- ・ 駅前広場の面積：0.68 ha
- ・ 必要な交通機能

バス（3 路線）の乗降場と待機場
タクシーの乗降場と待機場
一般車の乗降場と駐車場

等を想定

(2) まちづくりの視点における考え方

・ 駅前空間を考える上で、まちづくりの視点として重要な本地区の目標は次の通りです。

■瑞穂市 J R 穂積駅周辺整備基本計画 （令和 4 年 9 月策定）

【まちづくり目標】

駅周辺に人が集まり交流できる環境整備と生活利便性向上による居住促進

快適な駅周辺へのアクセス道路の整備と駅周辺に人が集まるための仕掛けにより、人の対流や交流を促進し、にぎわいを創出します。また、多様な居住環境を提供し、駅周辺の現状の生活環境の維持と定住促進を図ることを目指します。

■駅南地区 地権者協議会で話し合った本地区の目標

【まちづくり目標】

こや～よ！駅南 ～みんなで つなぐ 住みやすいまち～

地権者・駅利用者・将来の居住者を対象とし、地域の繋がりや、自分たちのまちに来てほしいというポジティブなイメージを「こや～よ！」と表現し、住みやすさ・便利・魅力・活気を将来のまちへと繋いでいくことを思いに込めています。



(3) これまで地域の皆様から頂いたご意見



駅前空間に関するご意見（※一部抜粋）

- ・ 子供からお年寄りまで**集まれる空間**があると良い
- ・ 駅前広場に公共交通や迎えを待つための**ベンチや屋根**があると良い
- ・ イベントができる**設備（電源）**があると良い
- ・ 防犯や安全の観点から、なにかあった時にすぐ対応してもらえるものがあると良い（**防犯カメラ、交番**）
- ・ **防災設備や知識**が必要（貯水、水害対策、消火器、防火用水、ハザードマップ等）
- ・ 安全に避難できる**施設や空間**があると良い（公園・広場 等）
- ・ 駅前広場には**利便性の高い施設**（買い物できる場所や病院等）があると良い
- ・ 駅前広場は**明るい**と良い
- ・ まちづくり団体との協力や、これまでの取り組みの維持（夜市・金曜市）

ご意見を踏まえた駅前空間の印象と実現のために効果的な施設

明るく圧迫感がない空間

- ・ ライトや街灯
- ・ 様々な高さの植栽
- ・ 開けた広場や低層の施設

等

人々が集い交流する賑わいのある空間

- ・ ステージやイベント広場
- ・ 祭り,キッチンカー,マルシェ
- ・ イベント開催が可能な設備

等

落ち着いた憩いのある空間

- ・ 東屋等の休憩施設
- ・ 親水空間、水景施設
- ・ 緑が多い公園

等

みんなにとって安心・安全な空間

- ・ シェルターや待合ベンチ
- ・ 防犯カメラや交番
- ・ 避難スペース

等

魅力的な駅前づくりについて

3. 駅前空間を考える上での資料集

(1) 駅前広場の印象と効果的な施設

明るく圧迫感がない空間

建物の素材や照明の明るさ、植栽の種類（低木・高木等）を工夫し、様々な色を使用した施設の配置をすることで、開けた明るい印象が生まれます。



落ち着いた憩いのある空間

緑が豊かな空間や水辺空間を配置したり、東屋等の休憩施設を配置することで、人々が自然に集まる憩いの場が生まれます。



人々が集い交流する賑わいのある空間

広いイベントスペースやステージ等の整備に加え、これまで取り組んできた地域イベントの継続等、エリアマネジメントの様な仕組みを一体的に運用することにより、賑わいや交流の場が生まれます。



みんなにとって安心・安全な空間

歩行者動線の確保やベンチやシェルター、防犯カメラを設置したり、有事の際の避難場所となる広場や防災遊具等を配置することで、住民や駅利用者等みんなにとって安心・安全な空間が生まれます。



(2) 魅力的な空間や施設を作るための素材や色味



(3) 駅前広場の空間イメージ

交通機能を重視したモダンな空間イメージ



駅前広場やシェルター等を特徴的なデザインにすることで、印象的な「まちの顔」となる空間をつくり出すことができます。

また、交通結節点としての利便性を考慮したバスやタクシー乗降場等の配置と特徴的なデザインを融合することで、乗り継ぎだけの場ではなく、待ち合せ等の様々なシーンの場に相応しい空間が生まれます。

公園（憩い・緑）の機能を取り入れた空間のイメージ



駅前広場に小規模な店舗、遊具、屋外ステージ、待合スペース等を設けたり、様々な植栽を効果的に配置することで、地域住民だけでなくまちに訪れる方々の「憩いの場」としての空間をつくり出すことができます。また、まちのアイコン（シンボル）となる要素（植物や市章等）を組み合わせた施設とすることで、まちの景観と調和した心地よい空間が生まれます。